

東日本大震災より1年…支援活動の歩み

よどがわ地域も揺れた東日本大震災。被災地支援として下記のように多種多数の支援活動に参加してきました。被災地は地盤沈下のまま今も残っており、今後も多数の支援が必要です。今後もご支援をよろしくお願いいたします。

2011年3月11日 東日本大震災発生 被災地へみんなで自分が今できることを考えた

活動月	被災地で行った活動(ボランティア)	被災地に向けて行った活動(募金他)
3月	<p>★22日～緊急交通路指定解除。支援物資お届け可能に!</p> <ul style="list-style-type: none"> ●22日～24日 役職員が集めた支援物資をみやぎ生協へ届けました。 ●31日 支援物資第2陣出発! ●現地のガソリンスタンドは長蛇の列のため、現地の方に迷惑をかけないように自分のトラック分のガソリンを積んで、自分でポリ缶から給油しながら、支援物資を届けました。  	<p>14日 ●対策本部を設置。 ●注文書と店舗で募金受付開始。</p> <p>16日 ●日本生協連から被災地生協へ物資支援の呼びかけに、コープさんぎとしてマイクロファイバー毛布7310枚をみやぎ生協へ。</p> <p>17日 ●みやぎ生協「お見舞い活動」への支援参加決定。</p> <p>26日 ●組合員全員に支援物資の提供を呼びかけました。</p> <p>29日 ●お子さんにプレゼントするお菓子セットをボランティアで作りました。</p> 
4月～5月	<ul style="list-style-type: none"> ●いわて生協石巻支部にて配送同乗支援を行いました。 ●みやぎ生協の共済契約者訪問のための地図づくりをしました。共済で請求していない方がいないか、異常災害見舞金の手続きの呼びかけをこちらから積極的に訪問・声かけをしました。 ●毛布などを大阪市を通じて、カイロなどを医療生協を通じて被災地へ託しました。 	<p>がんぼろう 東日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ●工場や従業員の方が被災したメーカー支援を実施。 ●大阪に居住される被災者支援を実施。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ●よどがわ生協の支所長が岩手県でご両親が行方不明の中学生と出会い、「ドラムのスティックが無くて困っている」という話を聞きました。大阪へ帰った後、現地のボランティアセンターにスティックを贈り、被災地訪問していた大西理事長がそのスティックを中学生に届けました。 <p>田畑に残ったさんまの撤去や写真の修復作業を行いました▶</p> 	<p>★岩手県被災地支援ボランティアを募集開始!(役職員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●長期にわたり「安定したボランティア活動を」と、よどがわ生協職員にボランティア活動を呼びかけました。業務ではなく、休暇を活用してのボランティア参加です。「お役に立ちたい」と多くの参加申し込みがあり、現在も続いています。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ●被災者から要望の強い新鮮な野菜(こういう物資はまごころネットが購入しており、よどがわ生協の募金はこういう資金に充当されます。)をお届け。 ●台風の影響で野外ボランティア活動は中止し、倉庫で台所セットづくりをして、仮設住宅に届けました。  	<ul style="list-style-type: none"> ●遠野まごころネット(ボランティアセンター)運営サポート募金開始。 ●物資お届けに現地で小回りのきく「よどがわ軽自動車」現地駐在決定!
8月	<p>★組合員さんが被災地にてボランティア活動開始!</p> <ul style="list-style-type: none"> ●8月末から岩手県陸前高田市と大槌町のボランティアに参加し、計23名の組合員とご家族が参加しました。被災地の小学生を対象にしたボランティア活動にも参加。楽しそうに友達同士で遊んでいるのに、数名の子どもが「話さない」。心の傷が大きすぎた…。1人でも多くの子どもたちが、幸せになる活動も必要と感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現地で活躍開始! 
9月	<ul style="list-style-type: none"> ●大槌町の大ヶ口保育園にて「フライパンダ」という直径90センチの巨大カステラを保育園で作るボランティアがありました。施設自体の被災はなかったけれど、地震の際に先に帰った子どもが亡くなりました。みんなで生地作りを手伝い、カステラが焼きあがった時には大歓声!保育園児みんなが笑顔でした。ガレキ撤去などのハードなボランティアも、笑顔で元気になるボランティアも必要とされています。 ●住宅の廃材を薪として販売するための「薪割り」 ●仮設住宅にお届けする物資を運搬   	<ul style="list-style-type: none"> ●被災者に仕事収入を! ハートブローチ支援の取り組み開始! 
10月	<ul style="list-style-type: none"> ●陸前高田市の河原の元牧草地に積もった細かいがれきの撤去作業をしました。表面の異物を掘り出しましたが、ビニール類が多く、半年が経ち土砂がカチカチでなかなか掘れず、ボランティアの組合員さんが苦戦しました。 	<p>台風12号被害発生!! 支援活動を実施 和歌山・奈良・三重の各生協への募金を呼びかけると共に、和歌山ボランティアを募集・活動を行いました。</p>
11月	<ul style="list-style-type: none"> ●冬物支援物資をお届けしました。 ●その他花壇復興作業なども行いました。  	<ul style="list-style-type: none"> ●被災地の子どもたちにプレゼントを! クリスマス募金実施。 ●灯油募金開始!
12月	<ul style="list-style-type: none"> ●クリスマス募金で岩手県陸前高田市と大槌町の子供たちにおおさかパルコープと共同でカラフルループ・大縄跳び・7連風・アニマル輪投げ・ゲームスタジアム・ベストオセロ・かるた・トランプなど計3406個のプレゼントを届けました。 ●ハートブローチ制作者に組合員の想いをお届けしました。   	<p>被災地の制作者の方よりメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大震災がおきて、私も家も財産もすべて津波に流されて被災してしまいました。どうにか世界中、日本全国たくさんの人達の支援により仮設住宅にて過ごしています。その中、このハートブローチ制作内職の話があり、よるこんで参加しました。本当に本当にたくさんの人達のあたたかい支援にて感謝しています。ありがとうございます。 ●釜石で津波にあいました。まずは、私に元気を与えてくれて本当にありがとうございます。家から仕事からすべて財産をなくし、待つて待つて仮設住宅に入り、1日中狭い部屋の中でこれからのことを考えると頭が痛くなり、胸がツキツキ…。そんな時にこの制作の話があり、うれしかった。みんなと集まりお話しながら作って。希望が持てるようになり、気持ちが明るくなりました。
2012年1月	<ul style="list-style-type: none"> ●氷点下の中、ボランティア活動は継続中です。冬用タイヤ着用でよどがわ軽自動車も元気に走っています。 ●陸前高田市と大槌町を中心に仮設施設の要支援者へ冬物衣類や食料品をお届けしました。 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ●大槌町の「みかん」「プレスサーモ」の物資を配達しました。安渡小学校の時計が津波のあった時間で止まっています、心が痛む思いでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●福島の子ども保養プロジェクト募金を3月1回の注文書で実施。福島県生協連による、『子どもたちを低線量地域一時宿泊するための募金活動』によどがわ生協も参加し、組合員に呼びかけました。

これからも自分が出来る支援活動を、みんなで力を合わせて続けていきましょう!!

募金活動報告 (2月24日現在)

東日本大震災救援募金

(被災者への義援金として) **18,976,767円**

灯油募金

1,250,300円

受付を終了いたしました。

今後も募金にご協力をお願いいたします

遠野まごころネット募金

(まごころネットの運営サポートとして) **4,436,200円**

募金方法▶ カンパ欄1416番に個数(100円単位)を記入。

